

全火類保安報

第 5 2 5 号
平成31年 1月
発行元 公益社団法人 全国火薬類保安協会
電話 03(3553)8762
郵便番号 104-0032

東京都中央区八丁堀4丁目13番5号
公益社団法人
全国火薬類保安協会
発行責任者 佐久間 信彰
www.zenkakyo-ex.or.jp

年 頭 所 感

経済産業省 産業保安グループ
鉱山・火薬類監督官 白井 基 晴

平成31年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶申し上げます。公益社団法人全国火薬類保安協会の関係者の皆様におかれましては、日頃より火薬類の保安の確保に努められるとともに、火薬類の保安行政に格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も、時代のニーズに合わせた規制・制度の改革と適切な運用を通じ、保安水準を一層向上させ、社会の安心・安全に貢献できるよう全力で取り組みとともに、以下の三点について重点的に取り組んでまいります。

第一に、自然災害への対応です。昨年も、7月豪雨をはじめ、関西、北海道における震災、台風の上陸等、多くの自然災害が発生しました。これらは近年、激甚化の傾向にあり、今後は南海トラフ地震や首都直下地震等も想定される所です。当省としまして、こうした対策に万全を期すよう全力で取り組みまいります。

第二に、事故への対応です。昨年発生した火薬類の事故の件数は、70件以上と前年の水準を超えており、被害の規模としても3名が亡くなるなど、大きな事故が目立つ結果となっております。

火薬類は、私たちが生活や事業を営む上で重要な役割を担うものであると同時に、ひとたび取扱いを誤れば、人的にも、物的にも、そして社会的にも甚大な被害をもたらす事故に繋がるものとなります。こうした事故が発生しないよう、当省としまして、引き続き、事故情報の収集と分析を行い、その結果を関係者の皆様にご提供させていただくとともに、必要な法令等の整備・運用等を通じて、火薬類による事故の削減に向けた取組を積極的に進めてまいります。また、火薬類の取扱いに関わる皆様方におかれましても、火薬類の保安水準がより一層向上するよう、法令遵守と自主保安の推進に努められますことをお願いする次第であります。

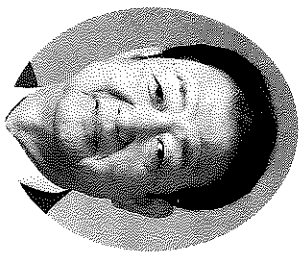
第三に、社会的要請を踏まえた規制の見直しです。引き続き、火薬類取締法で定める製造・貯蔵・消費といった技術基準等の「性能規定化」を進め、事業者の創意工夫が反映できるよう、安全かつ技術革新に対応した合理的な規制の実現を図るとともに、地方からの見直し提案についても検討を行い、適切に対応してまいります。また、2020年に開催される東京オリンピック、パラリンピックにおいて、競技が円滑に開催されるよう、関係機関と連携し、火薬類の適切な取扱いに関する法令上の検討や、安全確保に向けた取組を進めてまいります。

貴協会におかれましては、これまで事故の減少に大きく寄与されておりますが、今後もこうした活動を着実に進められ、火薬類の保安に貢献していただくよう、あらためてお願い申し上げます。

最後に、関係者の皆様の益々の御安全と御発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

公益社団法人 全国火薬類保安協会
会 長 鶴 田 欣 也



新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶申し上げます。

皆様におかれましては、平素より（公社）全国火薬類保安協会に対し、多大なるご理解、協力、ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。さて、昨年の火薬類による事故は、昨年12月24日現在で71件発生し、産業火薬（消費中）9件、煙火（製造中）2件、煙火（消費中）40件、がん具煙火18件、その他1件発生し、罹災者数は26人（死亡者3人、このうち認定死亡者1人）となっております。産業火薬製造中の事故はありませんでした。残念ながら、昨年、一昨年に続き死亡事故が発生しました。煙火の製造中に2名が死亡され、また、火薬庫から火薬類をトラックに積み込む作業の準備を行っていたと思われる火薬庫の爆発により、認定死亡者が1名発生しました。

昨年は、自然災害に見舞われた年でした。6月には、大阪府北部を震源とする地震に見舞われ、7月には、台風や梅雨前線によって、岡山県、広島県及び愛媛県など西日本を中心とした記録的な大雨があり、その後は、太平洋高気圧の影響で暑い夏が続ききました。また、各地の梅雨明けが平年より早くなりました。9月に入ると、台風19号が徳島県に上陸したあと近畿地方を縦断し、猛烈な風と雨に、高潮により大きな被害が起りました。さらに、北海道胆振東部地震が発生し、多くの死傷者、全道停電という大きな被害がありました。幸い、これらの自然災害による火薬類の事故は発生しませんでした。被災された方々からお見舞い申し上げます。今年も、災害に見舞われない1年にすることを祈るばかりです。

最近の火薬類を取り巻く環境ですが、経済産業省におかれましては、火薬類取締法の技術基準が産業実態の変化や技術の進歩など、時代の変化に対応した適時の見直しが行え、かつ、事業者の創意工夫がされるように、すなわち、技術基準の性能規定化（ヌーマート化）に取り組んでおられます。

全火協といたしましては、経済産業省の委託事業を平成30年度は消費（発破）及び消費（煙火）例示基準の検討ならびに廃棄技術基準見直しについての検討を行っております。火薬類取締法の性能規定化は、火薬類を扱う者として、非常に歓迎すべきことと思っておりますが、一方で火薬類に携わっている者の自主保安活動の推進が社会的責務としてより一層求められます。

全火協といたしましては、社会的責務を再認識し、火薬類取締法の目的「火薬類による災害を防止し、公共の安全を確保する」達成のため、自主保安活動を推進してまいります所存です。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとりましてよき年でありませうとお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

迎春 2019年

監 理	監 理	監 理	監 理	監 理	監 理	監 理	監 理	副 会 長	副 会 長
事 務	事 務	事 務	事 務	事 務	事 務	事 務	事 務	副 会 長	副 会 長
上 村	上 村	上 村	上 村	上 村	上 村	上 村	上 村	副 会 長	副 会 長
芳 村	芳 村	芳 村	芳 村	芳 村	芳 村	芳 村	芳 村	副 会 長	副 会 長
梅 田	梅 田	梅 田	梅 田	梅 田	梅 田	梅 田	梅 田	副 会 長	副 会 長
下 田	下 田	下 田	下 田	下 田	下 田	下 田	下 田	副 会 長	副 会 長
西 村	西 村	西 村	西 村	西 村	西 村	西 村	西 村	副 会 長	副 会 長
儀 谷	儀 谷	儀 谷	儀 谷	儀 谷	儀 谷	儀 谷	儀 谷	副 会 長	副 会 長
見 上	見 上	見 上	見 上	見 上	見 上	見 上	見 上	副 会 長	副 会 長
三 田	三 田	三 田	三 田	三 田	三 田	三 田	三 田	副 会 長	副 会 長
袋 島	袋 島	袋 島	袋 島	袋 島	袋 島	袋 島	袋 島	副 会 長	副 会 長
川 淵	川 淵	川 淵	川 淵	川 淵	川 淵	川 淵	川 淵	副 会 長	副 会 長
荒 木	荒 木	荒 木	荒 木	荒 木	荒 木	荒 木	荒 木	副 会 長	副 会 長
小 倉	小 倉	小 倉	小 倉	小 倉	小 倉	小 倉	小 倉	副 会 長	副 会 長
植 木	植 木	植 木	植 木	植 木	植 木	植 木	植 木	副 会 長	副 会 長
熊 谷	熊 谷	熊 谷	熊 谷	熊 谷	熊 谷	熊 谷	熊 谷	副 会 長	副 会 長
佐 久 間	佐 久 間	佐 久 間	佐 久 間	佐 久 間	佐 久 間	佐 久 間	佐 久 間	副 会 長	副 会 長
中 野	中 野	中 野	中 野	中 野	中 野	中 野	中 野	副 会 長	副 会 長
小 川	小 川	小 川	小 川	小 川	小 川	小 川	小 川	副 会 長	副 会 長
川 鶴	川 鶴	川 鶴	川 鶴	川 鶴	川 鶴	川 鶴	川 鶴	副 会 長	副 会 長
田 欣	田 欣	田 欣	田 欣	田 欣	田 欣	田 欣	田 欣	副 会 長	副 会 長
輝 繁	輝 繁	輝 繁	輝 繁	輝 繁	輝 繁	輝 繁	輝 繁	副 会 長	副 会 長
也 也	也 也	也 也	也 也	也 也	也 也	也 也	也 也	副 会 長	副 会 長

点火前 先ずは確認 退避よし！ 安全教育 未然に防ぐ 火薬事故

- 平成30年度甲種・乙種火薬類製造保安責任者試験の結果について
平成30年11月12日・13日の両日行われた甲種・乙種火薬類製造保安責任者試験の合格者は12月27日に発表されました。

区 分	出願者 (人)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)
甲種製造保安	130	118	17	14.4
乙種製造保安	52	49	10	20.4
計	182	167	27	16.2

● 主要行事予定表

開催年月日	名 称
2019. 3. 4	第23回理事会
3. 19	第13回総会 (臨時)
5. 16	第6回全国会議、第6回試験事務所長等研修会議
5. 30	第24回理事会
6. 18	第14回総会 (定時)
9. 1	甲種・乙種火薬類取扱保安責任者試験、 丙種火薬類製造保安責任者試験
11. 5～6	甲種・乙種火薬類製造保安責任者試験

●平成30年10月の産業火薬類の生産、出荷 (販売)、在庫量

— 化学工業統計 —			
産業用火薬類 (単位：t)	生産	出荷 (販売)	在庫
(前年同月比：%)	3161 (110.9)	3244 (115.5)	1105 (82.8)

注：産業火薬類は、火薬及び爆薬 (武器用を除く) の合計 (確報値) である。

- 全国火薬類保安協会からのお知らせ
(公社) 全国火薬類保安協会では、平成31年度の事業として次のセミナーおよび国家試験の実施を予定しております。

【火薬学セミナーの開催】

本セミナーは火薬類の製造に関するスペシャリストを育成するため、また火薬類の業務に係る方の教育としてご利用いただいております。
豊かかつ体系的なカリキュラムと経験豊富な講師陣により、2019年8月6日～9日に開催する予定です。職場における人材育成、安全管理のより一層の充実、安全作業の実現に大いに役立つものであります。火薬類関係企業、研究機関あるいは行政に携わる方のご参加をお待ちしております。

【国家試験の実施】

- 甲種・乙種火薬類取扱保安責任者試験、丙種火薬類製造保安責任者試験について

本試験は、火薬類の消費、貯蔵または煙火等の製造に関わる方々を対象として実施しております。近年は火薬類関係者とともに学生、警察・消防等公務員、自営業等受験者の範囲は広がっております。本年度も火薬類関係者における人材の育成、保安の向上にお役立ただくとともに幅広い分野の方々の受験を期待しております。

本試験は2019年9月1日に全都道府県で実施する予定です。

○甲種・乙種火薬類製造保安責任者

本試験は、火薬類の製造に関する保安責任者資格を得るための試験ですが、近年では火薬工場における技術者の全体のレベルアップも兼ねて本試験をご活用いただいている事業者もあります。本試験に合格すると、取扱保安責任者試験は全科免除になります。

本試験は2019年11月5日～6日に東京で実施する予定です。

詳細につきましては、当協会のホームページ等でお知らせいたします。

【書籍販売】

当協会では下記の書籍を取り扱っております。

1. 過去問の解答と解説
2. 火薬類取締法令の要点
3. 煙火の製造と保安
4. 煙火の安全な取扱い
5. 建設用びょう打ち銃、同空包の安全な取扱い

以上、詳細につきましては、決定次第、弊協会のホームページまたは関係者へ

のご案内によりお知らせいたします。なお、ご質問等がございましたらお気軽に弊協会にお問い合わせください。

●景気は、緩やかな回復基調が続いている。

— 12月の月例経済報告 —

内閣府は20日、月例経済報告等に関する関係閣僚会議に「12月の月例経済報告」を提出し、承認された。

【我が国経済の基調判断】

景気は、緩やかに回復している。

- 個人消費は、持ち直している。
- 設備投資は、増加している。
- 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- 生産は、緩やかに増加している。
- 企業収益は、改善している。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。

● 雇用情勢は、着実に改善している。

● 消費者物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。

【政策の基本的態度】

政府は、東日本大震災からの復興・創生及び平成28年(2016年)熊本地震からの復旧・復興に向けて取り組むとともに、デジタルからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していく。

このため、「経済財政運営と改革の基本方針2018」、「未来投資戦略2018」等を着実に実行する。さらに、全ての世代が安心でき、活躍できる「全世代型社会保障制度」を実現するため、労働制度をはじめ制度全般の改革を進める。また、来年10月に予定されている消費税率の引上げを控え、経済財政運営に万全を期す。

平成30年度第1次補正予算を迅速かつ着実に実施し、一連の自然災害の被災地の復旧・復興を全力で進める。また、平成30年度第2次補正予算を編成し、12月14日に閣議決定した「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に速やかに着手する。

好調な企業収益を、投資の増加や賃上げ・雇用環境の更なる改善等につなげ、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環の更なる拡大を実現する。

また、政府は、平成31年度予算の編成に向け、「平成31年度予算編成の基本方針」(12月7日閣議決定)及び「平成31年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」(12月18日閣議了解)を示した。

日本銀行には、経済・物価情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。

講習会開催計画表

1. 講習会開催計画表は、都道府県協会からの報告に基づき作成したものです。
2. 講習会の確認及び細部計画は、各協会にお問い合わせ下さい。

2月講習会予定

協会名	日程	開催地
北海道	4	稚内市
北海道	8	浦河町
北海道	15	網走市
栃木	20	宇都宮市
北海道	22	釧路市
北海道	22	帯広市
福井	22	福井市

協会名	日程	開催地
北海道	8	浦河町
北海道	15	網走市
福井	22	福井市

協会名	日程	開催地
保安手帳所持者(総合)		
保安手帳教育講習		
協会名	日程	開催地
岡山	21	岡山市

協会名	日程	開催地
東京	28	八王子市

協会名	日程	開催地
保安手帳所持者(煙火)		
保安教育講習		
協会名	日程	開催地
埼玉	16	吉見町
栃木	17	宇都宮市
新潟	19	新潟市

●第22回(公社)全国火薬類保安協会会長表彰式及び平成30年度火薬類保安経済産業大臣表彰式が、平成30年12月6日にアルカディア市ヶ谷にて執り行われました。受賞された方々は次のとおりです。(敬称略)

第22回(公社)全国火薬類保安協会会長表彰受賞者の方々

(保安管理功労者)

氏名 所属
 白川 秀昭 カヤク・ジャパン(株)
 小野寺 巖 (株)小野寺商店
 根岸 和弘 根岸火工(有)
 脇本 保則 東神興産(株)
 小口 芳正 (株)小口煙火
 新堀 二久夫 元大成建設(株)
 大脇 康司 大脇建設(株)
 山本 茂弘 酒井建設(株)
 西川 修一 北川物産(株)
 谷口 晃 元日本化業(株)
 浜田 律朗 (有)浜田鉄砲火薬店
 藤田 一浩 (有)藤田火薬店
 三澤 博文 第一火薬(株)

以上13名

(優良従事者)

氏名 所属
 山口 忍 野村花火工業(株)
 齋藤 光雄 多摩火薬機工(株)
 水嶋 九二男 (株)福田組
 岩中 英行 松阪興産(株)
 富崎 隆雄 新栄建設(株)
 山下 繁巳 北浜建設(株)
 上木 濂子 (有)上木銃砲火薬店
 岡村 貴彦 西松建設(株)
 北園 雄二 住友金属銃山(株)菱刈銃山

以上9名

(優良事業所)

事業所名
 ハラダ産業(株)
 丸伊石材工業(株)
 (株)信田銃砲火薬店
 (株)斎藤組
 明星セメント(株)糸魚川工場 田海銃業所
 中部採石工業(株)浜北工場
 三嶽銃山(有)
 青協建設(株)
 (株)小野火薬
 能登煙火(株)
 今井砕石(有)
 (株)鈴江組
 (株)フジタ 中尾トンネル作業所

以上13事業所

(永年勤続者)

氏名 所属
 山口 玲子 (一社)北海道火薬類保安協会
 水野 希美 (公社)愛知県火薬類保安協会
 道脇 エリカ (一社)長崎県火薬保安協会
 大坪 信武 (一社)東京都火薬類保安協会
 村瀬 幸正 (公社)愛知県火薬類保安協会

以上5名

平成30年度火薬類保安経済産業大臣表彰受賞者の方々

(保安功労者)

氏名 所属
 秋丸 進 (公社)全国火薬類保安協会 登録講師
 飯田 光明 (公社)全国火薬類保安協会 技術参事
 小倉 耕介 小倉火薬(株)
 坂巻 邦彦 (有)坂巻銃砲火薬店
 志鷹 新樹 丸新志鷹建設(株)
 西 正孝 (株)西美組

藤田 勝久 (株)藤久建設
 伏見 暁 山陽建設(株)
 町田 誠 町田建設(株)
 森 政俊 人の森(株)

以上10名

(優良従事者)

氏名 所属
 伊藤 竜雄 東海CS(株)
 伊藤 照雄 伊藤煙火工業(株)
 井上 晋也 井上銃砲火薬店
 田中 英樹 国際石油開発帝石(株)
 中村 一明 安藤建設(株)
 橋爪 敏 スター総合建設(株)
 樋口 繁美 (株)カコー 広島営業所
 藤井 誠 (株)カコー 広島営業所
 松本 正裕 (株)岡部 砺波営業所

以上9名

(優良事業所)

事業所名
 (有)伊関銃砲火薬店
 (株)上村組
 (株)大滝商事
 京阪砕石(株)宝山工場
 柴田興業(株)
 照山砕石(株)
 福原産業(株)
 (有)森煙火工場

以上8事業所

●平成30年火薬類関係事故について(12月31日までに報告のあったもの) 総括表(取扱・種類別一覧表)

項	目	種類別	事故件数		死亡者数		負傷者数	
			件数	計	人数	計	人数(重-軽)	計
製造中	産煙	業火	0	2	0	2	0-0	0-0
			2		0		0-0	
消費中	産煙	業火	10	68	1	1	0-2	0-23
			40		0		0-17	
運搬中	産煙	業火	0	0	0	0	0-0	0-0
			0		0		0-0	
貯蔵中	産煙	業火	0	1	0	0	0-0	0-0
			1		0		0-0	
がらう中	産煙	業火	0	0	0	0	0-0	0-0
			0		0		0-0	
その他事故	産煙	業火	0	1	0	0	0-0	0-0
			1		0		0-0	
合計	産煙	業火	10	72	1	3	0-2	0-23
			44		2		0-17	
			18		0		0-4	

※詳細は、弊協会のホームページをご覧ください。